

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 ひまわり きつきの里デイサービスセンター
------	--------------------------------

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

### ②第三者評価実施期日

平成29年1月19日

### ③事業者情報

名称：社会福祉法人 ひまわり きつきの里デイサービスセンター	種別：通所介護
代表者氏名：理事長 衛藤道生	定員 40名
所在地：杵築市大字守江字王子1864番地 TEL：0978-66-5500	873-0033

### ④総評

#### ◇評価の高い点

○総合事業の施行など大幅な介護保険制度の見直しがあり、介護保険制度の変動による法令を正しく認識している。通達や通知などの連絡文書の回覧やミーティング時に説明をしている。また、集団指導などに出席し、会議の中で共有をしている。管理者は、幅広い分野で新情報をキャッチし、遵守すべき法令は文書化し、全職員に回覧や会議で周知している。また、パワーポイントを使うなど工夫がみられる。

○資格取得に向けた受講計画や介護福祉士・介護支援専門員の受験勉強会を開催している。勉強会では、大分大学より講師が来設し講義を行い、法人のみならず他法人の職員の受け入れも行い、地域全体のスキルアップを図っている。

○火災や震災を想定して、定期的に自主防災訓練を実施している。津波に対して、地域や在宅と連携し、避難場所などの情報を共有している。実際の避難訓練では、避難完了までの時間をはかり、避難場所や方法の検討など実践に沿った実用的な内容である。

○理学療法士が定期的に（週3回）来設して、両下肢のストレッチや歩行訓練を行っている。リハビリ内容を各職員と共有する事で、一貫性のあるリハビリの実践の他、入浴や排泄動作での統一した介助や自立支援に向けた取り組みができています。

◇改善を求められる点

○嗜好調査やサービス内容などの満足度調査では、職員による聞き取りの内容のブレをなくすためにも、共通の様式による満足度調査を実施するなどの工夫を期待したい。

○多数の利用者の意見を収集するため、回収箱への相談実績がない事への対応についてさらなる工夫に期待したい。

○個々のサービスのマニュアルは、最新の情報の反映や介護サービスの専門性を向上する観点から、固定された担当者による見直しの実施が望ましい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受審するにあたり、改めてサービス全般について見直す事が出来ました。介護保険制度の状況が制度改正の度に変動し、杵築市とも連携し総合事業にも取り組んで参りました。

今後は、介護予防への地域ぐるみで取り組みが必要となるようですので、行政、地域、医療と連携し、利用者様が住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けられるように援助していきたいと考えています。

改善点にあげられた事項につきましては、スタッフ一同と検討し、改善したいと思えます。

忙しいなか、評価を頂き有難うございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）

## ⑥ 調査報告書

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

項目番号	項目	第三者評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	① ・ b ・ c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	① ・ b ・ c
I-1-(2)	理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	① ・ b ・ c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	① ・ b ・ c

#### I-2 計画の策定

項目番号	項目	第三者評価結果
I-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	① ・ c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	① ・ c
I-2-(2)	計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	① ・ b ・ c
I-2-(2)-②	計画が職員に周知されている。	① ・ b ・ c
I-2-(2)-③	計画が利用者等に周知されている。	① ・ b ・ c

#### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

項目番号	項目	第三者評価結果
I-3-(1)	管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	① ・ b ・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組みを行っている。	① ・ b ・ c
I-3-(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。	

I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ ・ b ・ c

## II 組織の運営管理

### II-1 経営状況の把握

項目番号	項目	第三者評価結果
II-1-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。	
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	Ⓐ ・ b ・ c

### II-2 人材の確保・養成

項目番号	項目	第三者評価結果
II-2-(1)	人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組みが行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(4)	実習生の受け入れが適切に行われている。	
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

## II-3 安全管理

項目番号	項目	第三者評価結果
II-3-(1)	利用者の安全を確保するための取組みが行われている。	
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ ・ b ・ c
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ ・ b ・ c
II-3-(1)-③	災害等の発生時における防災体制が整備されている。	Ⓐ ・ b ・ c

## I 地域との交流と連携

項目番号	項目	第三者評価結果
II-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている	
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(2)	関係機関との連携が確保されている	
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

項目番号	項目	第三者評価結果
III-1-(1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
III-1-(2)	利用者満足の向上に努めている。	
III-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a ・ Ⓑ ・ c
III-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-1-(3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ ・ b ・ c

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	質の向上に向けた取組みが組織的に行われている。	
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(3)	サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ ・ b ・ c

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。	
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-①	サービスの内容や事業所の変更などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

### Ⅲ-4 通所介護計画の策定

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1)	利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)	利用者に対する通所介護計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-①	通所介護計画を適切に策定している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的に通所介護計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

### Ⅲ-5 サービスの実施

悠々居デイサービスセンター

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-5-(1)	送迎。	
Ⅲ-5-(1)-①	利用者の心身の負担にならないよう送迎サービスを工夫し、安全を確保するための取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)	食事。	
Ⅲ-5-(2)-①	通所介護計画に基づいた食事サービスが用意されている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-②	食事環境(食事時間や利用者の嗜好を含む)に配慮している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)	入浴。	
Ⅲ-5-(3)-①	利用者の自立を念頭に置き、入浴介助は適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-②	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)	排泄。	
Ⅲ-5-(4)-①	利用者の自立を念頭に置き、排泄介助は適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-②	トイレは清潔で快適である。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(5)	行事・レクリエーション。	
Ⅲ-5-(5)-①	行事やレクリエーションは、利用者や家族の希望に配慮して、利用者の主体性や自立支援という視点から行われている。	Ⓐ ・ b ・ c



Ⅲ-5-(6)	機能訓練。	
Ⅲ-5-(6)-①	利用者一人ひとりの状態に応じた個別機能訓練を実施している。	① ・ b ・ c
Ⅲ-5-(7)	健康管理。	
Ⅲ-5-(7)-①	健康を維持するための取組みが行われている。	① ・ b ・ c
Ⅲ-5-(7)-②	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	① ・ b ・ c

### Ⅲ-6 質の高い福祉サービスの実施に係る具体的な取組み

項目番号	項目
Ⅲ-6-(1)	質の高い福祉サービスの実施のために特記すべき取組みが行われている。
Ⅲ-6-(1)-①	質の高い福祉サービスの実施に向けて、事業者として独自性のある取組みや特徴的な取組みを行っている。

◇該当する項目を記入し、具体的な取り組みについて記述する。

<b>【該当項目】</b>
「Ⅲ-6-(1)-①」
<b>【特記項目】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業の施行など大幅な介護保険制度の見直しに対応するため、通達や通知などの連絡文書の回覧やミーティング時に管理者から詳細な説明を行い、パワーポイントを使うなど職員間への周知のための工夫をしている。</li> <li>・資格取得に向けた受験勉強会では、大分大学より講師が来設し講義を行い、自法人のみならず他法人の職員の受け入れも行き、地域全体のスキルアップを図っている。</li> <li>・火災や震災を想定して、定期的に自主防災訓練を実施している。実際の避難訓練では、避難完了までの時間をはかり、避難場所や方法の検討など実践に沿った実用的な内容である。</li> <li>・通常の利用に耐えきれない短時間の入浴を希望する利用者にも対応している。少しずつ利用時間を延ばしていくなど、体力向上への取り組みを行っている。</li> <li>・カロリーや塩分、カリウム制限など糖尿病食や腎臓病食などの利用者個別の疾患に対応した食事の提供を行う体制が整備されている。</li> <li>・理学療法士が定期的に(週3回)来設して、両下肢のストレッチや歩行訓練を行っている。リハビリ内容を各職員に指導する事で、一貫性のあるリハビリが実践できている。</li> </ul>